

報道関係各位

2026年5月15日

クラダシ、代表CEOのAIクローンによる決算説明を実施

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営する株式会社クラダシ（本社：東京都品川区、代表取締役社長CEO：河村晃平、以下「クラダシ」）は、2026年6月期第3四半期決算説明会において、代表・河村の音声と映像を生成AIで再現したアバター「河村クローン」がスピーカーを務める新たな形式の決算説明会を実施いたしましたことをご知らせいたします。

・2026年6月期第三四半期決算説明会動画：<https://youtu.be/xyEqT2qp4DE>

Kuradashi

■ 2026年6月期 第3四半期 業績ハイライト

当第3四半期において、以下の通り主要な財務指標が大幅に改善いたしました。

- 売上高：9.2億円（前年同期比 +18.9%）
- 限界利益：3.1億円（前年同期比 +39.4%）
- EBITDA：1億1,500万円（前年同期比 +7,900万円）
- 当期純利益：6,700万円（前年同期比 +6,000万円）

主力の「Kuradashi」事業における徹底した利益コントロールに加え、新規事業である蓄電所の本格運用開始が寄与し、成長率・利益改善幅ともに明確な進捗を示すことができた四半期となりました。

■ AIアバター活用の背景

クラダシは、ミッションを「善いビジネスで未来に実りを。」と掲げ、世の中に山積するさまざまな社会課題を価値へと転換し、社会・環境・経済へ確かなインパクトをもたらす事業を展開しています。

現在、生成AIを起点とした「AI革新」が進む中、クラダシはこの技術を単なる業務効率化のツールに留めず、社会課題解決のスピードを最大化させるための「レバレッジ」と位置づけています。フードロス削減のオペレーション、需要予測、エネルギー事業のリスク分析、そしてコーポレートコミュニケーションに至るまで、AIを「あたりまえに使いこなす組織」への変革を象徴する取り組みとして、このたび、AIクローンによる決算説明を実施いたしました。

今回の決算説明会では、最新のAI技術を用いて、代表・河村の話し方、表情、声のトーンを忠実に再現した「河村クローン」が、好調な業績の背景および今後の成長戦略について解説を行いました。

事業規模が拡大し、社会に与えるインパクトが大きくなる中で、定型的な説明業務をAIが担うことで、経営陣はより本質的な「現場での社会課題解決」や「新規事業の創造」に時間を充当し、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

▽右下に映る「河村クローン」による決算説明の様子

Kuradashi の特徴的なビジネスモデル

世の中に山積する社会課題解決を目的に設立したソーシャルグッドカンパニー。フードロス削減に特化した食品プラットフォームの運営を中心に、サプライヤー良し、消費者良し、社会良しの三方良しのソーシャルグッドを実現



社会貢献団体への寄付 & クラダシ基金の活動原資

Kuradashi 売り上げの一部を環境保護や動物愛護などのさまざまな社会貢献団体へ寄付
もしくはクラダシ基金の活動に充当し、SDGsの17の目標を横断して支援



26年6月期 第3四半期 連結ハイライト

業容拡大と高利益率を両立し、前年同期比売上高+18.9%、限界利益+39.4%成長。3Q累計で当期純利益の黒字転換を達成

【連結決算ハイライト】		
売上高	921 百万円 (+18.9%)	EC事業 ^{注1} の着実な成長に加え、蓄電所の稼働（12月開始）がフル寄与したことで、売上高は前年同期比+18.9%と二桁成長を達成。
限界利益 ^{注2}	311 百万円 (+39.4%)	前年同期比+39.4%、限界利益率33.8%（+5.0pts）を達成。EC事業の利益コントロールと蓄電所本格運用の両輪で収益性の大幅改善。
EBITDA ^{注3}	115 百万円 (+79百万円)	事業成長（+87百万円：売上高影響+49百万円、利益率影響+38百万円）により大幅増加し、前年同期比+79百万円と大きく成長。
当期純利益	67 百万円 (+60百万円)	1QEBITDA黒字転換・2Q当期純利益黒字転換に続き、3Q累計で当期純利益も黒字転換を達成(+46百万円)。トップラインの成長と収益性の改善を同時実現。

【ビジネスハイライト】

- 系統用蓄電所に係る匿名組合出資
単独投資では成し得ないスピードで運用規模を拡大し、国内の再生可能エネルギー導入拡大という社会課題の解決を加速
- 空き家再生事業への参入決定
『もったいない』を食から住へ。Integrity社と合併でNestia設立、空き家再生事業に参入決定
- コーポレートアイデンティティの刷新
フード・エネルギーのみならず、多様な社会課題を『善いビジネス』で価値へ変え、日本一のインパクト企業グループを目指す。

Kuradashi 注1：EC Kuradashi、Dr.つるかめキッチン事業、及び、L'atelier de Shiori事業
注2：売上高から売上原価及び配送料等の変動費を控除した金額
注3：EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費＋株式報酬費用＋敷金償却費



■代表のコメント

株式会社代表取締役社長CEO 河村 晃平

「このたびの決算説明は、私自身ではなく、私のデジタルクローンである『河村クローン』がお届けいたしました。まだ改善の余地はございますが、経営者がAIに語らせるという試みは、変化の激しい時代における挑戦の意思表示でもあります。クラダシはソーシャルグロスカンパニーとして、新しいテクノロジーを臆せず取り込み、効率化したリソースをすべて社会課題の解決に注ぎ込むことで、投資家の皆さまに確かな価値を還元してまいります。」

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当：齋藤 pr@kuradashi.jp

■株式会社クラダシについて

代表者氏名: 河村晃平

設立: 2014年7月

本社所在地: 〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

URL: <https://corp.kuradashi.jp/>

【サービス紹介】

- ・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」: <https://www.kuradashi.jp/>
- ・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」: <https://www.kuradashi.jp/fund>
- ・冷凍宅配弁当「Dr. つるかめキッチン」: <https://tsurukame-kitchen.com/>
- ・冷凍宅配弁当「Kitchen Chef & Doctor」: <https://chef-doctor.com/shop>
- ・オンライン料理教室「La Table de SHIORI Online」: <https://online.atelier-shiori.com/>

【店舗一覧】

- ・Kuradashi店舗一覧: <https://kuradashi.jp/pages/stores>

【クラダシのインパクト】

- ・インパクトサイト: <https://corp.kuradashi.jp/impact/>
- ・サステナビリティレポート: <https://speakerdeck.com/kuradashi/sustainability-report>

【2026年3月末時点の主な累計実績】

- ・フードロス削減量: 37,951トン ・経済効果: 184億6,465万円
- ・CO2削減量: 100,607t-CO2 ・支援総額: 187,674,126円

「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社クラダシの登録商標です。